

MAX  
17h!!



最大17時間の通話

SENA 60Sは最大17時間の連続通話を可能とし、さらに充電時間はわずか1.5時間と短く、稼働効率にも優れている。動作温度範囲は-10℃から55℃と広く、酷暑や炎天下でも安定した性能を維持。厳しい気象条件や長時間運用が求められる環境下でも、そのスタミナと信頼性により快適なツーリング体験をサポートする。ハードなツーリングにも耐えうる、まさにタフネス設計の代表例である。

今回は日の出と同時に出発して、朝からずっとインカムで会話しながら走ってました。途中で他の仲間たちのインカム（60Sじゃない機種）は充電が切れてしまったんですけど、60Sを使っていた2人は最後まで通話が途切れなかったんです。これはかなり大きくて、楽しく話しながら走れるし、実は途中で少し眠くなった時も、話し相手がいることで安全面でも助けられました（笑）。バッテリーの持ちは安心感につながりますね。

朝から晩まで  
終日通話できました



アプリで通話接続  
グループ作成も簡単!

インカムの通話接続はアプリで簡単にできました。ただ、最初にグループメッシュとオープンメッシュの違いがちょっと分からず、一瞬戸惑いました。でも一度つないでしまえば、その後は電源を切って休憩しても、誰かが離脱しても再接続の手間がなくて便利でした。ツーリング中の操作も音声調整と電源のオンオフぐらいで、あとは放っておける感じ。通信距離も開けた地形で最大2kmとのことで、通信が途切れずに安心して走れました。



「SENA Motorcycle App」で一括操作

専用アプリ「SENA Motorcycle App」を使用すれば、音量や通話設定、メッシュ接続の状態確認などあらゆる機能にアクセスできる。直感的なUIにより操作性も高く、接続に不安を感じさせない構造となっている。さらに一部機種ではアプリ経由でファームウェアの更新も可能であり、常に最新機能を維持した状態で使用することができる。スマートな管理が可能な点も本機の強みのひとつである。



全SENAメッシュが3.0に!  
新世代MESH3.0で、さらに安定した通信

SENAのメッシュ通信が新世代「MESH 3.0」に統一され、走行中の接続安定性がさらに向上した。一部機種なら「Sena Motorcycles」アプリを使えば、PCや専用Wi-Fiアダプターを使わずに、OTA（Over-the-Air）によるワイヤレスでのファームウェアアップデートが可能。最新機能を活かすためにも、ツーリングに行く前にぜひファームウェアをアップデートしておきたい!



朝から晩まで走り続け、その道中で、4人はSENAのメッシュインカムを使い、通話の繋がりがやすさと音質をリアルに検証した。構成は60Sを使う2人に加え、50S、30Kの計4台。雨や高速、市街地などのツーリングのすべてが存在したこのツーリングは、SENAメッシュの実力を試すにはこれ以上ないシチュエーションだった。まず印象的だったのは、60S組から聞こえた「バッテリーの持ちがいい」という声。休憩を挟みつつも終日オンにしていたにも関わらず、残量は余裕があった（スペック値は最大17時間）。さらにグループ通話のセットアップもスムーズ。出発前に現地できっと迷うこともなく、スタートと同時に即通話が始められた。メッシュ3.0の安定感は頼もしく、山間部や市街地の走行中でも通話が途切れることはほぼ皆無。終始安定した通話ができていた。音質面も特筆に値する。ハーマンカードン製スピーカーのクリアさと、ノイズキャンセリングの効果で、高速走行中でも会話とナビ音声、さらにBGMのすべてが明瞭だった。また、今回の走行を通じて、メッシュ3.0アップデートによって旧モデル（50S、30K）でも性能がしっかりと底上げされているのを実感。ユーザーには、ぜひアップデートをおすすめしたい。12時間を走り抜いたこのラリーで、どんな場面でも安定して機能し、快適に使えるというSENAメッシュの実力を、身をもって再認識することができた。とくに60Sは、音質・接続性・操作性のすべてにおいて、ロングツーリングを共にするのにふさわしい完成度。次のツーリングでは、あなたもぜひSENAインカムを手し、その世界を体験してみたい。会話が続く安心感は、ライディングをもっと自由にもっと楽しくしてくれるはずだ。

終日雨でも  
防水なので安心



今回のツーリングはずっと曇ってたんですけど、防水機能が良くなって聞いてたので、そこは安心して使えました。実際に走行中も雨に振られることがあったけど、特に気にせずに使えたのが良かったですね。マグネットのマウントもしっかり固定されていて、走っててもズレたり不安定になることもなくて、装着感もしっかりしてるなど感じました。気候が読めない日でも安心して使えるのは大きなポイントですね。

IPX7 対応防水構造

SENA 60Sは、IPX7規格に準拠した防水性能を備えており、水深1mの環境でも最大30分間動作し続ける。突然の豪雨や悪天候下のツーリングでも安心して使用可能であり、全天候型のツーリングに求められる堅牢性を実現している。長距離走行や長期旅程を組むライダーにとって、インカムの信頼性は不可欠な要素であり、本機の耐久性はその期待に十分応える仕様となっている。



合流前には音楽も聴いていたんですけど、思っていたよりも重低音がしっかり出ていて、音楽を楽しみながら移動できました。風切り音もしっかり抑えられていて、走行中でも音がこもったり割れたりすることなく、音質がクリアだったのが印象的です。ツーリング中の仲間との会話も終始聞き取りやすく、これってMESH3.0やノイズキャンセリングの性能が効いているんだと思います。音楽も会話も快適に楽しめるのはかなり良いです。

高音質で  
会話がはかどる!

音質と接続の革新「ハーマンカードン」

SENA 60Sは、進化したMESH3.0を搭載し、従来比でさらに強固な接続性と高音質を両立。グループ通信の安定性を確保しつつ、MESH 2.0との互換性も備える。最大通信距離は開けた地形で約2km。加えて、Harman Kardon製第2世代40mmスピーカーを採用し、クリアかつ臨場感のあるサウンドを実現。AIノイズキャンセリング機能により、走行中でも風切り音や周囲の騒音を的確に除去する。



耐久12時間インプレッション!  
雨の中の  
メッシュグループ  
通話  
SENAメッシュ  
実走調査

仲間とインカムでつながればどんな状況でも楽しい……!

そんな状況を検証するべく用意された(?)のは雨時々曇りの1日かけてのラリーイベント

最新機種60Sを含めた4台のSENAメッシュインカムを使って

その耐久性と操作性、通話品質を検証。雨天×長距離の現場で見てきた使用感とは?

文/編集部 問/セナフルートウエスジャパン https://senablueooth.jp



60S

価格: 6万4680円  
(デュアルパック11万9680円)

通話時間: Bluetoothインターコム  
/最大24時間  
Meshインターコム/最大17時間  
サイズ(メインモジュール):  
94×52×27mm



SSTRに参加したのは4名

日本一有名なラリーイベントの参加したメンバーは30K、50S、60S、60Sの4人グループ。日の出とともにSENAメッシュ通話でつながりながら千里浜なぎさドライブウェイを目指す。基本コンディションは雨で、少々過酷なツーリングとなったが……



12時間、会話は途切れず  
SENAメッシュの底力

朝から晩まで走り続け、その道中で、4人はSENAのメッシュインカムを使い、通話の繋がりがやすさと音質をリアルに検証した。構成は60Sを使う2人に加え、50S、30Kの計4台。雨や高速、市街地などのツーリングのすべてが存在したこのツーリングは、SENAメッシュの実力を試すにはこれ以上ないシチュエーションだった。まず印象的だったのは、60S組から聞こえた「バッテリーの持ちがいい」という声。休憩を挟みつつも終日オンにしていたにも関わらず、残量は余裕があった（スペック値は最大17時間）。さらにグループ通話のセットアップもスムーズ。出発前に現地できっと迷うこともなく、スタートと同時に即通話が始められた。メッシュ3.0の安定感は頼もしく、山間部や市街地の走行中でも通話が途切れることはほぼ皆無。終始安定した通話ができていた。音質面も特筆に値する。ハーマンカードン製スピーカーのクリアさと、ノイズキャンセリングの効果で、高速走行中でも会話とナビ音声、さらにBGMのすべてが明瞭だった。また、今回の走行を通じて、メッシュ3.0の安定感は頼もしく、山間部や市街地の走行中でも通話が途切れることはほぼ皆無。終始安定した通話ができていた。音質面も特筆に値する。ハーマンカードン製スピーカーのクリアさと、ノイズキャンセリングの効果で、高速走行中でも会話とナビ音声、さらにBGMのすべてが明瞭だった。また、今回の走行を通じて、メ